

[要点]

- (1) 1185年に壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼし、朝廷に、国ごとに守護、荘園ごとに地頭を置くことを認めさせた。1192年、源頼朝は、征夷大將軍に任じられた。源氏は三代で滅び、もっとも有力な御家人であった北条氏が執權という地位について政治の実権を握った。
- (2) 御家人は、將軍から領地を認められ、守護や地頭などに任じられた。これを御恩といい、そのかわりに御家人は京都・鎌倉の警備にあたり、いざ戦いというときには一族郎党を率いて働いた。これを奉公という。このような土地を仲立ちにした主従関係を封建制度という。
- (3) 1221年、後鳥羽上皇は兵をあげたが、幕府の大軍に敗れ、隠岐に流された。これを承久の乱という。乱後、幕府は朝廷や西国の武士を監視するため、京都に六波羅探題を置いた。1232年、北条泰時は領地や裁判などについての武士のならわしをまとめて御成敗式目を定めた。

[要点確認]

- (1) 1185年に()の戦いで平氏を滅ぼし、朝廷に、国ごとに()、荘園ごとに()を置くことを認めさせた。1192年、()は、()に任じられた。源氏は三代で滅び、もっとも有力な御家人であった()氏が()という地位について政治の実権を握った。
- (2) 御家人は、將軍から領地を認められ、守護や地頭などに任じられた。これを()といい、そのかわりに御家人は京都・鎌倉の警備にあたり、いざ戦いというときには一族郎党を率いて働いた。これを()という。このような土地を仲立ちにした主従関係を()制度という。
- (3) 1221年、()上皇は兵をあげたが、幕府の大軍に敗れ、隠岐に流された。これを()の乱という。乱後、幕府は朝廷や西国の武士を監視するため、京都に()を置いた。1232年、北条泰時は領地や裁判などについての武士のならわしをまとめて()を定めた。

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 壇ノ浦の戦いで、源氏の総大将として平氏をほろぼしたのは誰か。
- (2) 右の肖像画に描かれている人物はだれか。
- (3) 1185年、(2)の人物は朝廷にせまって(A)と(B)を置くことを認めさせた。(A)は国ごとにおかれ、御家人の統率や殺人などの重い犯罪の取り締まりにあたった。(B)は荘園ごとにおかれ、年貢の取り立てなどにあたった。
- (4) ①(2)の人物は朝廷からどんな位をさずけられたか。②また、それは何年のことか。



【解答】(1) 源義経 (2) 源頼朝 (3) A 守護 B 地頭 (4) ① 征夷大将軍 ② 1192年

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 1185年、()の戦いで平氏が源氏によって滅ぼされた。
- (2) 平氏を滅ぼした後、源頼朝は守護・地頭をおくことを朝廷に認めさせたが、それは何年のことか。
- (3) ①守護、②地頭は、それぞれどんなところに置かれたか。
- (4) 頼朝は、平氏の滅亡後、弟の(A)をかくまったことを口実に、(B)氏を攻め滅ぼした。こうして東北地方にも幕府の支配が及ぶようになった。(B)のかつての繁栄を今に伝える建造物として、(C)寺金色堂が残されている。(B)の本拠地となった町は(D)である。

【解答】(1) 壇ノ浦 (2) 1185年 (3) ① 国ごと ② 荘園や公領ごと (4) A 源義経 B 奥州藤原 C 中尊 D 平泉

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 壇ノ浦の合戦が行われた場所を地図中の A～E より選べ。
- (2) 鎌倉の位置を地図中の A～E より選べ。



【解答】(1) E (2) A

【問題】

次の各問いに答えよ。

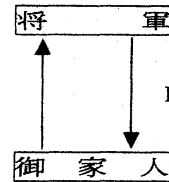
- (1) 鎌倉幕府を開いた人物は誰か。
- (2) 鎌倉幕府がおかれたのは現在の何県の何市か。
- (3) 鎌倉幕府が開かれて、1333年に滅亡するまでの時代を何時代というか。
- (4) 鎌倉幕府の組織で、御家人の統率にあたったのは(A)、御家人からの訴えを裁いたのが(B)、一般政務や財政をつかさどったのが(C)である。
- (5) 最初は政所の長官をさす役職で、北条氏がこの役職について、のちに政治の実権をにぎった。この役職とは何か。
- (6) 最初に(5)の地位についたのは誰か。
- (7) 頼朝の死後、幕府の実権は(A)氏に移り、以後(A)氏が(B)の地位を独占した。

【解答】(1) 源頼朝 (2) 神奈川県の鎌倉市 (3) 鎌倉時代 (4)A 侍所さむらいどころ B 問注所もんちゅうじよ C 政所まんどころ (5) 執権しっけん (6) 北条時政ほうじょうときまさ (7)A 北条ほうじょう B 執権

【問題】

将軍は配下の御家人になった武士が先祖から受け継いできた所領の支配を認め、てがらにに応じて新しい土地も与え、要職にも任命した。これらを(B)という。一方、御家人は将軍から受けた(B)にこたえて、普段は京都や鎌倉で警護などの役を務め、「いざ鎌倉」といった戦のときには将軍家のために戦った。これらを(A)という。このような土地を仲立ちにした主従関係を(C)という。

(忠誠を尽くす) A



B (土地を守ってあげる)

【解答】A 奉公ほうこう B 御恩ごおん C 封建制度ほうけんせいど

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 将軍と主従関係を結んだ武士を何というか。
- (2) 源頼朝は、御恩と奉公で結ばれた主従関係を基礎にして、武家政治を始めた。この御恩とは、どのようなことをいうか。
- (3) 奉公の内容を説明せよ。
- (4) 戦の時に、御家人たちはどんな時にも将軍のもとへかけつける心構えを持っていた

という。この心構えを何というか。4文字で答えよ。

- (5) 武士は、つねに馬や弓矢の武芸によって心身をきたえて、武士らしい心がまえ(恥を知る)を持つように努力していた。これを「何の道」とよぶか。

【解答】(1) 御家人 (2) 領地の支配を認めたり、守護や地頭に任命したりすること。(3) 将軍のために、一族を率いて戦いに参加すること。(4) いざ鎌倉 (5) もののふの道

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 武士の一族の長である()が庶子を統率した。
(2) 鎌倉時代、武士の領地の相続法は()相続で、庶子や女子にも土地が与えられた。

【解答】(1) 惣領 (2) 分割

【問題】

資料を読んで、次の各問いに答えよ。

(資料)

みなの方、よく聞きなさい。これが最後の言葉です。頼朝公が 朝廷の敵をたおし、幕府を開いてこのかた、官職といい、土地といい、その恩は・・・(中略)。名誉を大事にする者は、京都に向かって出陣し、逆臣を討ち取り幕府を守りなさい。

- (1) 資料の言葉は、①何という戦乱のときに、②だれが訴えたものか。
(2) この乱の首謀者は誰か。
(3) 乱の後、朝廷を監視するために京都におかれた役所は何か。
(4) 1232年、領地や裁判などについての武士のならわしをまとめた法律が作られたが、何という法律か。

【解答】(1) ① 承久の乱 ② 北条政子 (2) 後鳥羽上皇 (3) 六波羅探題 (4) 御成敗式目

【問題】

次の各問いに答えよ。

- (1) 承久の乱は何年か。
- (2) 承久の乱のときの執権^{しっけん}は誰か。
- (3) 承久の乱の後、後鳥羽上皇は現在の何県のどこに流されたか。
- (4) 承久の乱の後に設置された六波羅探題は、どこに置かれたか。

[解答](1) 1221年 (2) 北条義時^{ほうじょうよしとき} (3) 島根県の隠岐^{おき} (4) 京都

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 御成敗式目^{ごせいばいしきもく}を定めたのは誰か。
- (2) ①御成敗式目が定められたのは何という乱のあとか。②また、何年に定められたか。
- (3) 御成敗式目を定めた理由は何か。

[解答](1) 北条泰時 (2)① 承久の乱 ② 1232年 (3) 御家人に対する裁判の基準を示すため。

[印刷/他の PDF ファイルについて]

※ このファイルは、FdText 社会(6,600 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdText 社会は Word(または一太郎)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※ 弊社は、FdText のほかに FdData 中間期末過去問(社会・理科・数学)(各 18,900 円)(Word 版・一太郎版)を販売しております。PDF 形式のサンプル(全内容)は、

<http://www.fdtype.com/dat/> に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData)]を、Windows のデスクトップ上にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイル(各教科約 1500 ページ)を自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

RunFdData(Word 版) 【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

RunFdData(一太郎版) 【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataTAs.exe> 】

※ダイアログが表示されたら、【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd 教材開発 : URL <http://www.fdtype.com/dat/> Tel (092) 404-2266】